

平成29年2月2日

JA京都中央会
専務理事 牧 克昌様

〒150-8409

東京都渋谷区神宮前6-12-17
株式会社ダイヤモンド社 週刊ダイヤモンド編集部
電話 03-5778-7214
FAX 03-5778-6614
編集長 田中 博
記者 千本木啓文

謹啓

時下ますますご清栄のことお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、幣誌「週刊ダイヤモンド」では農業に関する特集を検討しております。

弊誌は、本特集の取材の一環で、JAグループ京都が資本参加する米卸「京山」が精米・販売した「滋賀こしひかり」、「魚沼産こしひかり」、「京都丹後こしひかり」について安定同位体比による産地判別を実施しました。専門機関による検査の結果、それぞれ6割、4割、3割の比率で中国産米と判別される米が検出されました。

そのため、2月13日(月)発売予定の「週刊ダイヤモンド」にて、京山が精米・販売する米に産地偽装の疑いがあることを報じる所存です。

つきましては以下の3点について、質問させていただきます。

- (1)京山が、中国産米をブレンドした米を国産のコシヒカリとして販売した事実はありますか
- (2) (1)の産地偽装があった場合、京山の株式55%を保有するJA京都中央会、同23%を保有するJA全農京都は、偽装の事実を把握していたのでしょうか
- (3)京山が扱う輸入米の加工・販売の実態について、JA京都中央会専務の牧様、会長の中川泰宏様は把握していたのでしょうか

質問は以上です。

お時間のないなか大変恐縮ではありますが、2月6日(月)18時までにご返答いただきますようお願いいたします。期日までにご対応いただけない場合はその旨、特集記事にて記載させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

謹白